

「まちの遺伝子を活かす」～地域の熱意と人のネットワークを活かした住まいづくり～

# 平野郷まちあるきマップ

平野郷は、平安時代に開かれ、戦国時代には自衛のため、まちを環濠と土居をもって囲み、町民会議でまちを運営する自治都市として栄えたとして、現在も、環濠都市の面影を伝える豊富な歴史資源等が残る地域です。平成11年度から「HOPEゾーン事業」を開始し、地元の平野郷HOPEゾーン協議会と大阪市とが連携をしながら、事業を進めています。

① 末吉家は、平野七名家の筆頭として、平野郷の発展に寄与しました。また、末吉家は航海業を営み、朱印船貿易を行っていました。  
※ 門の外からの見学になります。



② 大念佛寺は融通念仏宗の総本山です。本堂(国の登録有形文化財)は、木造の建物では大阪府下最大のもので、山門は大阪市指定文化財として登録されています。



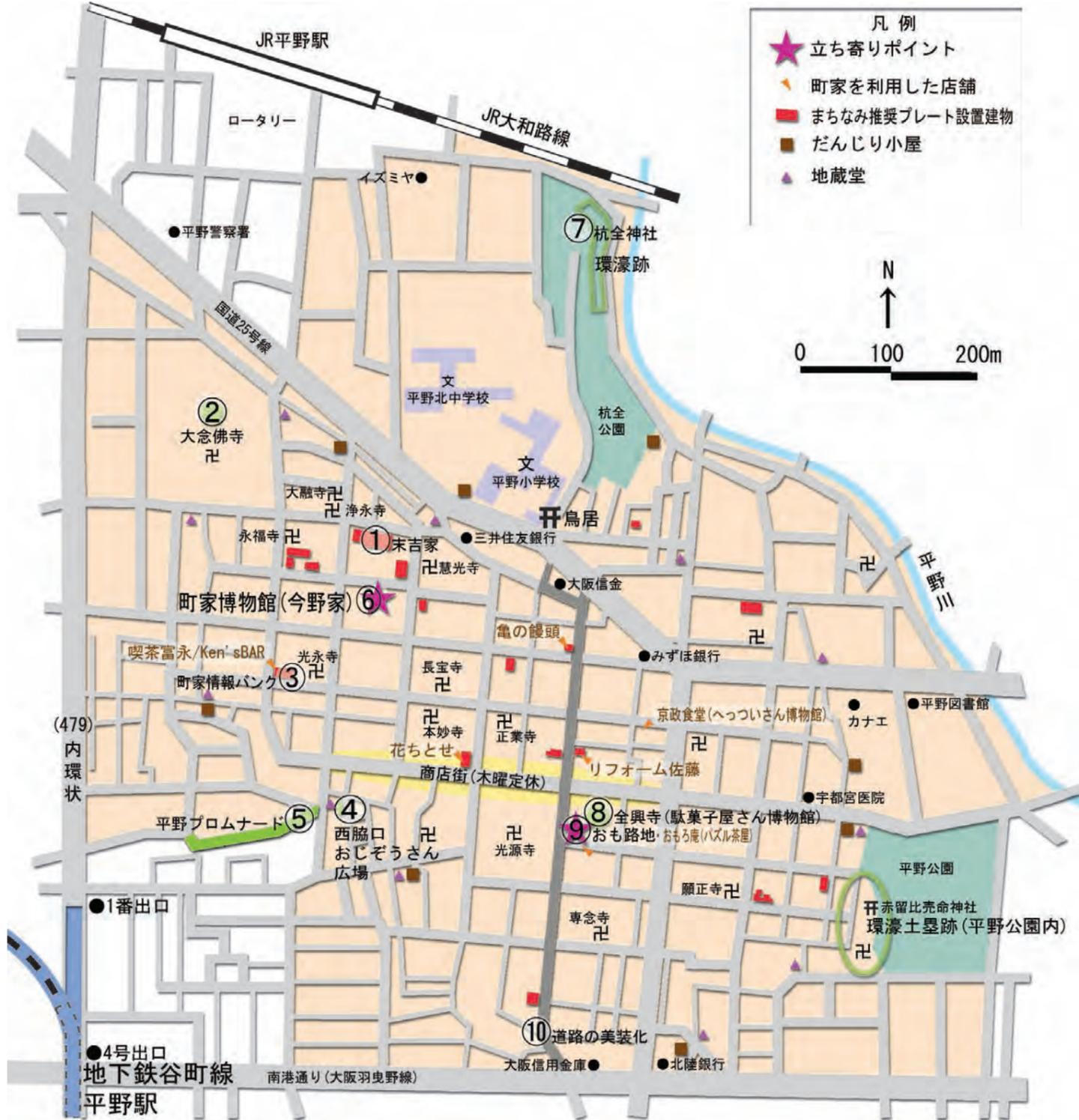
③ 平野では町家を利用したお店が増えてきています。町家の貸し手と借りての橋渡しをする「町家情報バンク」の活動でお見合いが成立した店もあります。



④ 十三口の1つ、西脇口にある地蔵堂の前を整備して、「西脇口おじぞうさん広場」と名づけました。ワークショップで計画を練り、防災の観点から手押しポンプの井戸もつけました。



⑤ 平野プロムナードは、現在は廃線となっている南海電鉄平野線の路線跡に作られた緑地です。ここにあった、平野駅駅舎の保存運動が、平野でのまちづくりの機運を高めました。



⑥ 町家博物館(今野家)は、江戸時代後期に建てられたもので、農家的な性格の様式を持つ当時の典型的な住宅です。



⑦ 杭全神社は、坂上田村麻呂の子孫が862(貞観4)年に創建しました。本殿は国の重要文化財として登録されています。また、日本に現存する唯一の連歌所(大阪市指定文化財)があり、今でも定期的に連歌会が行われています。杭全神社の夏祭りでは、九町のだんじりが宮入をし、平野に夏の到来を告げます。



⑧ 全興寺は、平野がまだ広々とした原野であった頃、聖徳太子により建てられた薬師堂が起りです。境内には「駄菓子屋さん博物館」など、見所がたくさんあります。



⑨ おも路地は、様々な世代の人がくくりを超えて交流できる場所として設けられた集会施設です。道に面したところには、平野郷のまちなみ模型も設置されています。



⑩ 杭全神社の夏祭りの時に、だんじりの宮入ルートとなる南北の通りで道路の美装化を行いました。美装化の計画はワークショップ形式で行われ、だんじりの走行がしやすい仕様を採用しています。



地域住宅計画全国シンポジウム 2006 大阪大会  
製作：大阪市、地域住宅計画推進協議会

## ●まちなみ推奨プレート

平野郷HOPEゾーン協議会では、まちなみにふさわしい建物に、「まちなみ推奨プレート」を進呈しています。



## ●だんじり小屋

だんじり小屋は、杭全神社の夏祭りの際に宮入をする九町のだんじりを保管しているところです。だんじりはそれぞれのまちの誇りであり、象徴でもあります。



## ●地蔵堂

旧環濠の十三箇所の出入口(十三口)の側にそれぞれ設けられていた地蔵堂は、現在も受け継がれ、夏には地蔵盆が行われています。



## ●まちぐるみ博物館

まちぐるみ博物館は、平野の町づくりを考える会(\*)が1993年から取り組んでいるミニ博物館運動です。博物館といっても、施設や展示物を整備することを目的とするのではなく、運営者と訪問者とのコミュニケーションを通して、住民自身が楽しみながら地域を再発見しようとする試みです。

\*「考える会」は地区内に始発駅を置いていた南海電鉄平野線が廃線となった際、平野駅舎の保存を求めて行われた住民運動を契機に発足した住民主体の会で、HOPEゾーン協議会にも参加しています。

# 平野郷地区

## ★ 集会施設「おも路地」の整備

既存の2軒長屋を改修して整備。通りに面した位置に平野郷のまちなみ模型を設置し、江戸期の夏祭りの風景を再現した。

外観は、2階外壁をタイル張りから銅板張りへ、雨樋を銅製へと修景を行った。窓には安全面、防災面に考慮して木製格子を設置した。



## ○ 西脇口おじぞうさん広場の整備

既存の地藏堂周辺の空地进行一体的整備した。平野郷の歴史や文化を伝える説明板を設置した。防火水槽を設置し、初期消火に役立てるとともに、防災まちづくりのシンボルとした。



## ○ 伝統的建物

**住宅：**1800年代中ごろに建てられた町家（つし2階）の修景。大屋根及び軒庇などについて、様式に基づく修景を行った。



**だんじり小屋：**既存のだんじり小屋を改修すると同時に、隣地に倉庫を新設。だんじり小屋は、トタン張りを漆喰塗り腰板張りへと修景。新築倉庫もだんじり小屋と統一感のあるデザインとしている。



**住宅：**つし2階町家の外観の修景。外壁を漆喰塗り腰板張りとし、玄関建具、シャッターを木製格子戸へと修景。郵便受けを埋込型にし、設備メーターを木格子で囲うなど目立たないよう配慮されている。



**店舗（リフォーム佐藤）：**2階建て町家の外観の修景。1階壁を漆喰塗り腰板張りとし、建具を新調。玄関庇も設置されている。また、メーターを木製格子で囲い、看板に関しても、景観に配慮されている。



**店舗（喫茶富永 / Ken's Bar）：**平屋建て町家の修景。既存壁面モルタル増築部分を撤去、木製出格子とした。既存出格子部分、腰板の張替え、漆喰部分の塗り替えを行った。既存屋根トタン部はトタンを新調、瓦部分は本葺きで葺き替えた。



**住宅：**1階壁面既存モルタル壁部分を焼板漆喰塗りに変更、シャッターを撤去後、木製建具を新設。既存木製格子を補修。2階壁面漆喰塗り。屋根をいぶし瓦葺とし、銅製の雨樋を設置。



**店舗付住宅（亀の饅頭）：**幕末に建てられたと推定される店舗付き住宅の改修。以前に改造された、1階の壁面と2階の看板を中心に、建築当初の形に近づける改修を行った。



**店舗（花ちとせ）：**高2階建て町家の修景。1階軒庇を復活。シャッターを撤去後、木製建具を設置した。1階壁を板張りとし、漆喰調塗装、2階をタイル張りとした。



## ○ 新築の建物

住宅の建替に伴う、新築住宅の修景。伝統的町家に習い、新しい町家型住宅の計画を行った。（1階には駐車スペースを設けている。）



## ○ その他の建物

**店舗（京政食堂）：**昭和51年に建てられた1階に店舗のある住宅。道路に面した部分の外壁、庇等を高2階式町家の形態にあわせて修景した。両端の袖卯建（そでうだつ）や2階外壁の銅板張りが特徴。



## ○ 塀・門及び車庫

**新築の塀・門：**住宅の新築に伴う、門・塀についての修景。瓦、腰板のデザインなどを用いて、伝統的なまちなみに配慮した修景を行った。



**塀・門及び車庫：**既存駐車場の塀及び車庫の修景。瓦葺、漆喰塗、腰板張りなどを採用したデザインで、並びにある蔵の外観に合わせて修景を行った。

